

# TC 通信

No 93 2020年5月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



## 『正しく怖がる感染症』

岡田 晴恵/著 筑摩書房 49/夕/16



新型コロナウイルス感染症の解説者としてテレビ番組にも出演している、岡田晴恵さんの2017年の著書。感染経路別に、マラリア、エボラ出血熱、結核、コレラなど、代表的な感染症を取り上げて説明します。

予防やうつさないための努力をすることによって、感染症による健康被害を最小限にしたい、それが本書の目的だと著者は言います。今まさに感染症の危機に直面している私たち。危険な感染症は新型コロナウイルスだけではありません。感染症とはどんなものなのか、知ることのできる一冊です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
図書館は6月1日（月）まで臨時休館しています。

今後も休館期間やサービス内容が変更になる場合があります。  
開館状況は図書館のホームページ等で随時お知らせします。

## 名作 たからばこ



### 『12のバレエストーリー』

スザンナ・デイヴィッドソン ほか/再話 イボンヌ・ギルバート・ナノス/絵  
西本 かおる/訳 小学館 90/シヨ/19 3階児童

見たものすべてを魅了する、キラキラなバレエの世界。

この本はそんなバレエで上演された物語12話が収録されています。『くるみわり人形』や『白鳥の湖』、『ロミオとジュリエット』など、有名作品がたくさん登場します。

その中でも私が特におすすめしたいのは『ジゼル』です。

ドイツのとある村の家の前で、みすぼらしい服を着た若者・ロイスが愛らしい村娘・ジゼルを待っています。二人は恋人同士で愛し合っていました。ロイスには秘密がありました。実は、本当の名をアルブレヒト公爵とって、ジゼルとは身分が違う人だったのです。しかも彼には婚約者がいて…。

はかなくて切なくて美しい恋のお話です。表紙もさし絵もとても美しいので、文章だけではなくそちらにも注目していただきたい一冊です。

テーマ  
**お茶**

「お茶」といっても種類はいろいろ。煎茶、紅茶、抹茶にほうじ茶、中国茶…。今あなたが飲みたいのは？好きなお茶でほっと一息、ティータイムにしませんか。



**『英国王室のアフタヌーンティー』**

マーク・フラナガン/著 キャサリン・カスパートソン/著 忠平 美幸/訳  
 河出書房新社 596.23/エ/17 **3階実用**

みなさんは“アフタヌーンティー”って知っていますか？そうです、「ホテルのラウンジなどで出される、3段のトレイなどで提供されるデザート」を思いうかべる人がきっと多いですね。「ティー」とは、そもそも春のピクニックから秋の午後の「ハイティー」まで、英国の典型的な食事のことです。そして、英国王室とは切っても切り離せないものなんです。

この本は、「バッキンガム宮殿専属シェフによる、英国王室伝統のレシピ集」で、本の最後にはなんと「本書の出版許可を賜ったことへのエリザベス女王に対する謝辞」が載っています。まさにホンモノ！！素敵なティータイムのメニューとともに、テーブルセッティング、食器、調度品など素敵な写真がいっぱい。あなたも王室の一員になったつもりでページをめくってみてはいかが？

**『ゼロから分かる！日本茶の楽しみ方』**

ブレケル・オスカル/著 世界文化社 596.7/セ/18 **3階実用**

デパ地下に行くと鼻をくすぐる何とも言えないあの香り。一口味わえば心までもが癒される懐かしい気持ちになる…そう、日本茶のことです。

この本は、そんな(?)日本茶をこよなく愛し、インストラクターの資格も持つスウェーデン人ブレケル・オスカルさんによる日本茶の入門書です。淹れ方や基礎知識が丁寧に書かれていて、写真やイラストも多く載っていてとても読みやすい☆

普段は、ペットボトルのお茶ばかり飲んでいるあなた！！そうそう、今読んでいるあなたですよ！あなたもこの本をとおして、日本茶のすばらしさを再確認してみませんか。



**『好日日記』**

森下 典子/著 パルコエンタテインメント事業部 791/コ/18 **3階実用**

茶道といえば、映画化され、ベストセラーにもなった『日日是好日』が記憶に新しい。本書はその続編である。著者森下典子さんが「お茶だなんて古くさい」と、気乗りしないまま20歳の時に通い始めてから40年。「お茶のお稽古」の中の「たくさんの季節と豊かな日々」を振り返るすてきな「日記」である。

茶の湯とは「単なる儀式」ではなく、「日常のさまざまな雑事」から離れる時間であり、穏やかな気持ちで自分と静かに向かい合うこと。そんな感覚が伝わってくる。

一年を春夏秋冬、さらに二十四節気に分けて描き、床の間のお花、掛け軸、お菓子、茶道具も、それぞれの季節で整えられるのが面白い。著者自身が描いたそれらのイラストも心にやさしいのである。

「シャシャシャシャ…。」さて、これは何の音だかわかるかな。(答えは本書に何度かでてくるよ。)



**『お茶の時間』**

暮らしの図鑑編集部/編 翔泳社 596.7/オ/19 **3階実用**

紅茶や緑茶、ウーロン茶は色も味も違いますが、同じ葉からできているって皆さん知っていますか？実は発酵過程が違うだけで、原材料は同じ葉っぱだなんて信じられないですよ。この本はそんなお茶を余すことなく紹介しています。

おススメは飲んでおいしい、見て楽しい工芸茶。中国由来のお茶ですが、なんと飲みごろになると花が開くという、素晴らしいお茶なのです。飲むのがもったいない、なんだかそのまま飾ってしまいたい気持ちになりますが、体にも良いのでぜひ見て飲んで楽しんでいただきたい一品でございます。

そのほかにも、器具や茶葉の詳しい解説も有ります。自分の好きなお茶のページを見てよし、新たな発見を求めて新しいお茶にチャレンジしてもよしです。写真も多いのでかなり見やすく、読みやすい一冊となっております。



ティーンズコーナーに  
新しく入った本から  
ピックアップ。



## 『朔と新』

いとう みく/著 講談社 913/コウ/19

兄の朔(さく)が一年ぶりに帰ってきた。朔と弟の新(あき)は、一昨年の大晦日、父親の故郷で正月を迎えるために高速バスで仙台に向かう途中、事故に巻き込まれた。朔は視力を失い、盲学校で生活を送っていた。大晦日に出発することになったのは、新が母親と衝突したからだった。一日遅れて出発したことが、運命を変えたのだ。

中学時代、新は長距離ランナーとして注目されていたが、事故以来ランナーとしての未来を自ら閉じてしまった。

そんな新に兄の朔は「オレの伴走者になってほしい」と願いを伝える。初めは激しく抵抗したが、自責の念もありその願いを断れなかった。

二人をつなぎとめるのは一本のロープ、そのロープを握り、コースへと踏み出していく…。

兄と弟、近いからこそ遠くに感じる兄弟という複雑な関係を、ブラインドマラソンを舞台に見事に描き切った作品。

児童文学界屈指の書き手といわれる、いとうみくの渾身の書き下ろし作品です！

## 図書館員 M の本棚

今でこそメールやLINEがあるが、ほんの20年くらい前まで人は皆、自分の気持ちを「手紙」にして相手に伝えていた。いろいろな作品で人々を魅了してきた作家たちは、自身の気持ちをどんな言葉で相手に伝えたのだろうか。

機知とユーモアに富んだ文豪夏目漱石、愛を求め続けた太宰治、一途で切ない想いを綴った向田邦子、弟天才宛の膨大な手紙を残した画家ゴッホ。4人の手紙から、彼ら自身の違った一面が垣間見える。その苦悩や愛、人柄、喜怒哀楽の表現の中に、あなたにも伝わるメッセージが見つかるかもしれない。

### 『江戸っ子 漱石先生からの手紙』

渡邊 文幸/著  
理論社  
910.26/エ/19 4階一般



### 『愛と苦悩の手紙』

太宰 治/[著]  
亀井 勝一郎/編  
角川書店  
915.6/ア/98 3階文庫



### 『向田邦子の恋文』

向田 和子/[著]  
新潮社  
910.26/ム/02 4階一般



### 『書簡で読み解く ゴッホ』

坂口 哲啓/著  
藤原書店  
723.8/シ/14 4階一般





# 進路相談室



Q. 将来のために勉強が必要なことはわかってはいるのですが、なかなか自分に合った勉強方法がわかりません。なにか参考になるような本はありませんか？

## A. 『勉強大全』

伊沢 拓司/著 KADOKAWA 376.8/へ/19

勉強のことが書かれた大全、あります。クイズでおなじみの東大王、伊沢拓司さんの書かれた本です。受験生を職業に例え、受験の合格（ゴール）までを地図に例えてしまう目からうろこの考え方！違った見方から、発想の転換を試みるのもよいと思います。ゴールに行くまでの道のりと考えると、今までの勉強方法は無駄になってなかったと思えますし、自分に合った勉強方法を探して迷走しても、きっと道のりはゴールに向かっていっているのだと思うとやる気も起こりますよね。ちょっと勉強に対して迷いが出てきたかもしれないあなたにおススメです。

実は勉強ができなかったという話からの逆転劇、という一見ありがちかもしれない本ですが、勉強の「原理」がとても分かりやすく解説されています。勉強に対して「モヤッと」していたことが、少しでもこの本を読んで解消されるとよいと思います。勉強方法を探すお供にぜひどうぞ。



## ティーンズコーナーとは??

中高生（ティーンズ）世代に向けたさまざまなジャンルの本を集めたコーナー。図書館3階にあります。大きな看板が目印！

児童書よりも文字数が多くむずかしい本へのステップアップをはじめ、悩み解決のヒントになる本・知識を深める本・趣味を広げる本などをたくさん用意しています。

「〇〇について調べたい！」  
「△△の本はどこ？」など、  
本に関する相談や探し物は  
職員に気軽に聞いてみてね。



発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。